

# 2025年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧 (7月25日)

民間奨学金申請要領 返還支援事業

※民間団体等奨学金の申請方法について、必ず申請要領を確認のうえ手続きを行ってください。 →→ [URL](#)

※地方公共団体等の奨学金返還支援事業についてはこちらに掲載しています。 →→ [URL](#)



○募集要項の請求先について  
「大学」と記載されている奨学金→学生支援チーム①番窓口へ取りにきてください。  
各団体名が記載されている奨学金→各自でHPからダウンロードしてください。

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
大学とりまとめ型	一般社団法人大学女性協会 東京支部奨学生(通称 チャレンジ奨学生)	23ヶ月以上の就労(アルバイトを除く)の後、会員の在住する都道府県に本部を置く文部科学省の許可する大学の3年次又は大学院1年次に在学する女性・性自認女性とする。卒業又は修士課程修了まで同大学・大学院に在学することを条件とする。就労以前の学歴は問わない。	記載なし	学部生 3年生 または、 大学院1年生	20万円 (一括給付)	給付	1名	<a href="#">大学女性協会</a>	大学 (学生支援チーム)	9月22日 (16時厳守)
直接応募型	マイベスト奨学金	2025年4月1日時点で、日本国内の高校、高専、大学、短大、または専門学校に在籍しており、かつ年齢が20歳以下であること。	可	2025年4月1日時点で 学部生	10万円 (一括給付)	給付	(年間) 合計15名程度	<a href="#">マイベスト奨学金</a>	<a href="#">マイベスト奨学金</a>	【第1回】 6月1日～9月30日 【第2回】 10月1日～2026年1月31日 【第3回】 2026年2月1日～5月31日
直接応募型	一般財団法人ジェイリース奨学基金	身体障害者手帳(視覚障害1～6級)が交付されている、または、視覚に障害があることを証明する医師の診断書が提出可能な方	可 (条件により不可)	学部生 大学院生	年間60万円 (3回に分けて支給)	給付	5名程度	<a href="#">一般財団法人ジェイリース奨学基金</a>	一般財団法人 ジェイリース奨学基金	9月19日 (当日消印有効)
直接応募型	公益財団法人渥美国際交流財団	以下の①～⑤のすべてに該当すること ①日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。 ②居住地が関東地方または近畿地方(三重県・大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県)の方。 ③国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。 ④外国語能力が高いことが望ましい。 ⑤奨学金受給期間に正規の職(常勤職)に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。	可 (条件により不可)	2025年4月1日の時点で 大学院生(博士課程)	月額 25万円 給付期間:1年間 (2026年4月～2027年3月、 または、2026年9月～ 2027年8月)	給付	18名	<a href="#">渥美国際交流財団</a>	公益財団法人 渥美国際交流財団	申請受付期間 (9月1日～ 9月20日)
直接応募型	一般財団法人日本知財育成財団 (正林真之記念奨学金)	以下の①～⑤のすべてに該当すること ①日本国籍を有すること ②国内の大学の理工系学部(在籍する学部3年生であること ③応募締切日時点で年齢25才以下であること ④経済的な理由により学費の支弁が困難であること ⑤就学状況及び生活状況について適時報告できること ※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの(例:情報理工学部、創造工学部、理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻)	可	2025年4月1日の時点で 学部生 3年生	年間48万円 (10月下旬に年額一括給付) 給付期間:2年間	給付	10名	<a href="#">一般財団法人日本知財人材育成財団</a>	一般財団法人 日本知財人材育成財団 事務局 奨学金事業係	8月31日 (応募書類必着)
大学とりまとめ型	一般社団法人 大学女性協会	一般奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍している女子学生で、学業・研究・人物ともに優れた者。 社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学の学部(在籍1年以上)・大学院に在籍している女子学生で、身体に障害があり、かつ学業人物ともに優れた者。 安井医学奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍している女子学生で、医学・歯学・薬学を専攻し、かつ学業・研究・人物ともに優れた者。 ※備考 ・1大学から各部門1名ずつ3名まで1名は1部門に限り応募することができる。 ・過去に当協会の奨学金を授与された者は、再度応募することはできない ・在籍年数に休学期間は含まず、2026年2月末日に在籍であること ・社会福祉奨学生は、身体障害者手帳の交付を受けていること ・経済的理由は一切問わない	記載なし	一般奨学生 文部科学省の認可する大学の 大学院に在籍している女子学 生  社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学の 学部(在籍1年以上)・大学院 に在籍している女子学生  安井医学奨学生 文部科学省の認可する大学の 大学院に在籍している女子学 生	一般奨学生 大学院生 30万円  社会福祉奨学生 大学院生 30万円  安井医学奨学生 大学院生 30万円 *備考 奨学金1回限りである	給付	一般奨学生 大学院生 5名  社会福祉奨学生 学部生(在籍1年以上)、 大学院生 合わせて2名以内  安井医学奨学生 大学院生 1名 *備考 応募状況により奨学生人数を変更することができる	<a href="#">大学女性協会</a>	大学 (学生支援チーム)	8月5日 (16時厳守)
直接応募型	公益財団法人伏見記念財団	令和7年4月に日本国内の大学院に在籍し、日本の歴史又は文化に関する研究を行う、日本国籍を有する者。修士課程・博士課程前期は30歳未満、博士課程後期は35歳未満(令和7年4月1日時点)の者	可 (財団へ報告要)	修士課程・博士課程前期 15 名程度	博士前期(修士)課程 月額 3万円 博士後期(博士)課程 月額 5万円 (最短修業年限) (10月及び4月に 半年分を給付)	給付	修士課程・博士課程前 期 15名程度  博士課程後期 5名程度	<a href="#">伏見記念財団</a>	公益財団法人 伏見記念財団	6月2日～ 7月31日  郵便受付: 7月31日 (消印有効)
直接応募型	(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学) 大学院予約(学部最終学年) 学部生	大学院生(在学) 月額 5万, 8万, 10万円  月額 4万, 5万, 6万円 (うち2万円給付)	貸与 (無利子)	20名  300名	<a href="#">財)交通遺児育英会(リンク)</a>	(財)交通遺児育英会 提出期限の10日前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること	2024.10.31 (1次募集)8.31 (2次募集)1.31
直接応募型(推薦書依頼必要)	公益財団法人 ファスキア奨学財団	①医療又は福祉系の学を専攻する大学生、大学院生 ②愛知県、三重県、岐阜県出身者又は左記県在住者 ③在学学校長によって推薦された者 *生計を一にする同居家族の合計年収が800万円未満もしくは合計所得が600万円未満であること	可	学部生 大学院生	給付金額 10万円	給付	30名	<a href="#">ファスキア奨学財団</a>	<a href="#">ファスキア奨学財団</a> (9/10までに学生支援 チームへ推薦書作成を 依頼すること)	9月30日 (応募書類必着)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
大学とりまとめ型	2025年度 一般財団法人エス・シー・ビー育英会	①2025年4月1日現在、学部3・4年生、大学院)に在学していること。 ②原則として化学に関する分野を専攻をしていること。(応用化学、物質科学、天然物化学、材料科学、物理化学、生物学、薬学、農芸化学等) ③学業優秀、品行方正、明朗闊達な者 ④学長、学部長、学科長または指導教員等の推薦があること ⑤日本国籍を有すること ⑥他の奨学団体からの給付については条件なし	可	2025年4月1日時点で 学部生(3~4年生)・大学院生	月額 3万円(学部生) 月額 5万円(大学院生)	貸与	若干名	大学 (学生支援チーム)	学生支援チーム	7月28日 (16時厳守)

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 2025年9月30日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)